

令和7年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和7年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	株式会社もりおかパークマネジメント		所管課	公園みどり課
所在地	〒 020 - 0803 盛岡市盛岡市新庄字下八木田60番地18			
電話番号	(019) 654 - 8266		設立年月日	令和1年7月8日
代表者	代表取締役 加藤 彰 ☒ 常勤 ☐ 非常勤		☒ 市OB ☐ 市現職 ☐ その他	
設立目的	都市開発事業、民間都市開発事業、観光開発及び産業振興事業に関する各種調査、研究、企画立案およびコンサルタント業務、動物園に関する経営及び運営等			
主要事業	① チケット販売、駐車場管理 ② 動物飼育および治療 ③ 動物導入搬出及びブリーディングローン、動物の各種庁舎及び研究 ④ 事業の関連物品の販売、イベント企画・運営			

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☒ ある (アドレス http://zoomo.co.jp/) ☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☒ 事業内容 ☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☐ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	1	1		1	2	
	監査役					0	
	計	1	1	0	1	2	
職員	管理職	正職員	8		1	0	8
		臨時職員	0	—	—		
	一般職	正職員	26	0	0	2	32
		臨時職員	4	—	—		
	計	正職員	34	0	1	2	40
		臨時職員	4	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増	2	減	0	常勤職員の平均年齢	39.6 歳
常勤職員の給与体系							
☒ 法人独自の給与体系 ☐ 市の給与体系を準用 ☐ その他(							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	9,900 千円	本市出資等額	4,900 千円	本市出資等割合	49.4 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合			49.4 %)	
② 株式会社アイビーシー岩手放送	(出資等割合			5.0 %)	
③ 株式会社テレビ岩手	(出資等割合			5.0 %)	
④ 株式会社岩手めんこいテレビ	(出資等割合			5.0 %)	
⑤ 株式会社岩手朝日テレビ	(出資等割合			5.0 %)	
令和7年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の		%)
	負担金・交付金	2,986 千円	(収入全体の		1.0 %)
	委託料	264 千円	(収入全体の		0.09 %)
	指定管理料	99,547 千円	(収入全体の		32.8 %)
	貸付金	0 千円	(収入全体の		%)
補助金内訳					
①	(令和7年度予算額			千円)	
②	(令和7年度予算額			千円)	
③	(令和7年度予算額			千円)	
負担金・交付金内訳					
① 飼養動物のふん尿処理業務負担金	(令和7年度予算額			1,486	千円)
② 動物調達業務負担金	(令和7年度予算額			1,500	千円)
委託料内訳					
① 野生保護動物保護等	(令和7年度予算額			264	千円)
②	(令和7年度予算額			千円)	
指定管理料内訳					
① 盛岡市動物公園の管理運営に関する年度協定	(令和7年度予算額			99,547	千円)
②	(令和7年度予算額			千円)	
③	(令和7年度予算額			千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		盛岡市動物公園			
		利用料金収入(令和7年度予算額)		118,366	千円
		法人の収入全体の		39.0	%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名 称	盛岡市動物公園
--------	---------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①入園者数	人	計画	80,000	180,000	180,000
		実績	64,337	177,262	132,732
②開園日数	日	計画	53	296	290
		実績	37	264	290
③物販・飲食事業収入	千円	計画	11,505	24,883	55,965
		実績	24,489	55,108	41,536
④催し物事業収入	千円	計画	2,586	7,604	13,787
		実績	5,482	14,935	12,748

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位: 千円、%、人)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収支の状況	売上高(A)	321,323	313,975	263,698
	売上総利益	146,851	126,294	95,162
	販売費・一般管理費(B)	116,769	125,705	122,692
	営業利益	30,082	589	▲ 27,530
	経常利益(C)	33,550	14,411	▲ 14,543
	税引前当期純利益	33,550	14,521	▲ 14,491
	当期純利益	24,634	11,539	▲ 14,563
財産の状況	資産(D)	189,734	193,397	156,893
	うち流動資産(E)	145,703	155,854	103,492
	うち固定資産	44,031	31,602	48,956
	負債	83,350	75,475	53,534
	うち流動負債(F)	58,322	53,137	35,154
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債	25,028	22,338	18,380
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
	純資産	106,384	117,922	103,358
	うち資本金(K)	9,900	9,900	9,900
	うち剰余金(L)	96,484	108,022	93,458

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
組織の状況	常勤役員数(M)	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	35	38	40
	うち常勤職員数	33	36	34
	うち本市OB	1	1	0
	うち本市派遣職員	0	1	1
	うち管理職員数	8	8	8
	常勤役員比率(M/総役員数)	0.5	0.5	0.5
	管理職員比率	22.9	21.1	20.0
職員新規採用数	7	3	3	
うち常勤職員数	7	3	3	
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	10.4	4.5	▲ 5.5
	販売費・一般管理費比率(B/A)	36.3	40.0	46.5
	流動比率(E/F)	249.8	293.3	294.3
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	56.0	60.9	65.8
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	8,925	8,050	6,431
本市の財政的関与等の状況	補助金額		2,121	2,780
	① 指定管理者エネルギー価格高騰対策支援金	0	2,121	2,487
	②			
	③			
	負担金・交付金額	30,000	18,508	21,065
	① 外周支障木伐採業務	30,000	0	0
	② 飼育動物調達業務負担金	－	2,853	3,000
	③ ふん尿処理業務負担金	－	15,655	16,065
	④ 動物病院整備に向けた広報業務	－	－	2,000
	委託金額	3,463	459	264
	① 野生鳥獣保護他	463	459	264
	② 飼育動物引取・輸送等	3,000	－	－
	上記のうち再委託額	1,963	0	0
	上記業務の委託契約方法	随意契約	随意契約	随意契約
	指定管理料	209,298	102,281	99,396
	① 盛岡市動物公園の管理運営に関する年度協定	209,298	102,281	99,396
	②			
	③			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			
令和6年度決算の概要				
気象条件に恵まれず、また物価高騰により家計が守りに入った影響を受け入園者数が減少し、それに伴って各部門の売り上げを減らしました。また物価高騰による飼料や燃料等の値上がりも大きく影響し、業績は赤字となってしまいました。				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

C	A:良好、B:概ね良好、C:改善を要する、D:大いに改善を要する
(コメント) 令和5年度まで黒字であったところ、令和6年度に赤字に転じた。減価償却前も赤字となっており改善を要するが、当該法人は収益確保に向け5か年事業計画及びアクションプランの策定等を行っており、当該取り組みを堅実に行うことで概ね3年以内の黒字が可能であると考ええる。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和5年度決算において黒字である。	○	
2	令和6年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	令和6年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		